

# 自然観察 NOW

NO : 63

野幌森林公園自然情報

発行 : 2022年5月14日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>

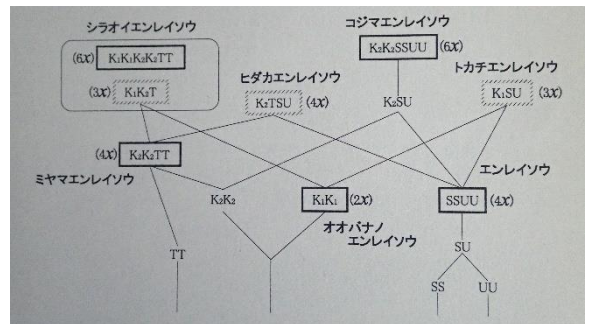


野幌森林公園の2,053haの広大な平地林には、「野幌森林公園植物調査の会（以下：「植物調査の会）」が2013～2017年の5カ年間の調査で、612種の植物を確認しています。多くの種が存在することで、年間を通して、多様な植生を楽しむことができます。今回は植物の新分類体系で大きく移動した旧ユリ科に焦点を当て観察をしてみましょう。

## 新分類体系でユリ科から配置転換した植物たち

### ・シロソウ科エンレイソウ属の植物たち

「植物調査の会」によると、公園内には、オオバナノエンレイソウ、チシマエンレイソウ、エンレイソウ（アオミノエンレイソウ、クロミノエンレイソウ）、ミヤマエンレイソウ、ヒダカエンレイソウの6種類が確認されています。オオバナノエンレイソウ、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウを基本種として種間雑種（ヒダカエンレイソウなど）が生じやすく、変異や変種、奇形も時々発生し変化に富む野花です。



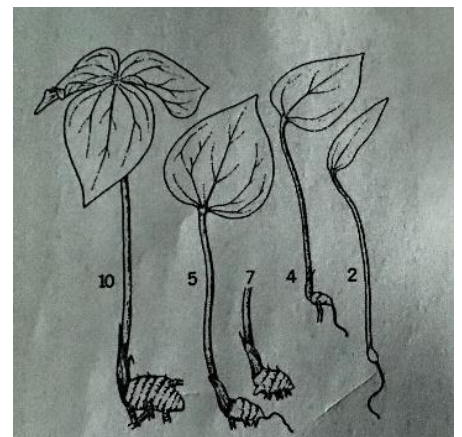
日本産エンレイソウ植物の種形成過程（花の自然史「大原雅編集」から引用）

### ・エンレイソウ植物の生活史（10年以上要して開花！）

発芽後、2cmほどの細長い葉が1枚出て、2週間で枯死。翌年に丸い葉を1枚出します。（地下部は1年経過後に葉の柄の基部に白い小さな塊茎が形成されます。塊茎には1年にひとつずつしわに似た輪が追加されていきます。輪の数で生育年数を予測可能。）

3年目から出る葉は前年より丸い葉が1枚です。5～6年これを繰り返して、少しずつ大きくなります。7～8年経過後に3枚の葉を出すようになり、その後5～6年かけて大きくなります。発芽から十数年後に漸く、花を咲かすことが出来ます。その後は何年も繰り返し花を咲かせ続けます。

受粉は甲虫のケンキスイ類が担う虫媒花で、種子には蟻の好物のエライオソームが付着していて、移動をするテクニックがあります。



若い時代のオオバナノエンレイソウ（数字は発芽後年数）引用：北の森の植物たち（鮫島淳一郎）



オオバナノエンレイソウ



エンレイソウ



ミヤマエンレイソウ

## 旧ユリ科グループはAPG植物体系で大分裂

### シュロソウ科

APG体系で旧ユリ科は5個の「目」、14科に分散拡大をしました。公園には旧ユリ科は28種類の草花が、シュロソウ科9種、クサスギカズラ科8種、ヒガンバナ科3種・イヌサフラン科2種・サルトリイバラ科1種・ユリ科5種が観察されます。シュロソウ科は、エンレイソウ、バイケイソウなど多彩な仲間があります。

#### ・ツクバネソウ・クマツクバネソウ（シュロソウ科）

外的印象や生育環境・時期は類似性があり、しかし長く伸びる根茎の節から直立する茎の頂葉の出葉の枚数が異なります。ツクバネソウは4～6個の柄の無い葉を輪生し、クマツクバネソウは6～8個の葉が輪生。



ツクバネソウ



クマツクバネソウ

### クサスギカズラ科

オランダキジカクシ（アスパラガス）、ユキザサなど個性的グループで、周辺環境から観察会を盛り上げる素



マイズルソウの開花と果実

敵なグループ。ワニグチソウ、ミヤマナルコユリ、タチギボウシ、ヒメイズイも所属する



ユキザサ



オオアマドコロ

### イヌサフラン科

ホウチャクソウ、チゴユリは和名に神仏施設の付属や稚児を冠しており、奥ゆかしい自然環境を構成してます。



ホウチャクソウ



チゴユリ

### ユリ科に残留した草花



オオウバユリ



ツバメオモト



クマユリ

文責 三井 茂

※参考図書:花の自然史(大原雅:北大図書刊行会)、北の森の植物たち(鮫島惇一郎:朝日新聞社)、北海道の草花(梅沢俊:道新)、新しい植物分類体系(伊藤元己など:文一総合出版)

#### 今後の観察会予定

- |                    |             |                 |
|--------------------|-------------|-----------------|
| ・5月22日(日) 恵庭公園観察会  | 10:00~12:30 | 恵庭公園中央駐車場集合     |
| ・5月27日(金) 藻岩山登山観察  | 9:00~13:00  | 慈啓会病院前登山口集合     |
| ・5月29日(日) ワォーの森観察会 | 10:00~12:00 | 春香山登山口(小樽市桂岡)集合 |